

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 東海地域に新たに15名の将棋指導員が誕生

新型コロナウイルスの影響で将棋大会、イベント、講座などがほとんど中止または延期せざるを得ない中、4月5日(日)、令和2年度の日本将棋連盟指導員資格審査が、全国8カ所で開催されました。

名古屋は桜華会館にて富山から受験の1名を含む15名の受験者の参加でした。全国的には札幌4、仙台5、東京27、名古屋15、大阪12、松江8、高松8、福岡10の合計89名でした。

密接、密集、密閉の三密に配慮して、会場は1机に1名、窓を開ける、面接も2メートル程度で実施、さらに予定時間を工夫で短縮して実施しました。受験された皆さんもこれらの状況をよく理解され、スムーズな運営で無事終了しました。



当日は杉本昌隆八段(東海普及連合会副会長)、中山則男六段(同事務局長)、竹河伊知郎棋道師範(同幹事)、小林壯行棋道師範(同幹事)の皆さんが参加して、筆記試験終了後の面接を行いました。

その後、日本将棋連盟から、4月中旬に全員の合格の連絡がありました。

新たに将棋指導員に合格された皆さんは、池田稜(可児支部)、宇津野聖祉(栄将棋教室支部)、梅村信夫(あいちみよし支部)、大岩岳人(あいち犬山小牧支部)、榊原和久(栄将棋教室支部)、榊原智(徳重支部)、鈴木秀和(名古屋支部)、高津章(愛知県庁支部)、中島克浩(豊田朝日ヶ丘支部)、中村利正(常滑支部)、西山昭南(可児支部)、二之湯剛史(名古屋西南支部)、藤原邦二(尾張一宮如春庵支部)、宮地孝四郎(栄将棋教室支部)です。

多くの方がすでにいくつかの将棋講座で活躍中ですし、東海地域の将棋普及にさらに一層広がりができることを期待しております。現在は将棋の普及だけでなく社会の様々な分野で困難に直面していますが、必ず国民全体の英知と協力で乗り切ることができると思います。

多くの将棋大会、講座、イベントが中止または延期されていますが、必ず将棋の普及の花が再び開花できると確信しています。

2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う将棋関連イベント等の中止について

新型コロナウイルス感染拡大は、まだまだ先の見通せない厳しい状況にあります。

4月7日には、日本政府より「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」が発出されました。

これを受けて、日本将棋連盟では、新型コロナウイルス感染拡大防止策として4月11日から5月6日まで以下の内容で対応してきております。

1. 東西遠征等対局者の長距離移動を伴う公式戦の対局は、原則5月7日以降に延期する。

2. 東京・将棋会館、および関西将棋会館における対局を1部屋1局以下に抑える。

これに伴い、名人戦、叡王戦のタイトル戦や、遠距離対局者の対局等は延期となっております。

また、4月28日時点での主なアマチュア全国大会中止等の状況は次のとおりです。

- 第9回J:COM杯3月のライオンこども将棋大会
- 第49回支部対抗戦・名人戦、第27回全国シニア名人戦
- 第33回アマチュア竜王戦、第33回全国高等学校将棋竜王戦
- 文部科学大臣杯第16回小・中学校将棋団体戦
- 第41回全国中学校選抜将棋選手権大会
- 第57回「しんぶん赤旗」全国以後・将棋大会
- 第74回全日本アマチュア名人戦全国大会

これに伴い、愛知県内での予選大会、将棋大会、イベントも中止・延期となっております。また、栄将棋教室、水曜トーナメント、東海団体リーグ戦、講座なども休業・延期となっております。詳しくは東海普及連合会のホームページにてご確認をお願いします。

こうした中、藤井聡太七段の対局もすべて延期となっており、棋聖戦では準決勝に進出したものの、日程は未定となっており、タイトル挑戦最年少記録（17歳10か月）の達成は微妙になっています。また、王位戦挑戦者決定リーグ白組で首位に立っていますが、その後の日程は未定です。タイトル獲得の最年少記録（18歳6か月）は十分に残されています。

そうした厳しい状況にはありますが、必ずやすべての皆様の英知を結集して乗り切る日が来ることを確信しております。引き続き、皆様方の格別なご協力をお願いいたします。

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会のサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp/>) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp